

W32-R5373

アドバンテスト

マイクロウェーブカウンタ

R5373

使用できる機種 R5372, R5373, R5373P

R5372,R5373は、アドバンテスト社の商標です。

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-R5373-R	ラトックシステム社	70,000円	Windows 7/8.1/10 (32 or 64bits) Excel2010/2013/2016 (32bits Only)
W32-R5373-N	NI社		

機能



- ・データロガーとしての活用
指定した時間間隔で指定した個数の測定データをリアルタイムにExcelシートに取込みます。ファンクション等の切替は自動的におこないます。
- ・製品検査への活用
被測定物を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取り込みます。

概要

スタートすると、ファンクション・分解能を設定した後、指定されたサンプリング時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。ファンクション、分解能、ATT、時間間隔、取込回数等を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取込みを開始します。

測定中は、データ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。
※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。

操作説明

測定器からデータの取込を開始します。

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

測定ファンクションを設定します。「何も設定しない」は、測定器の設定を現状のまま測定を開始します。この時、測定器はFREE-RUNにしておいてください。

RF-ATTを選択します。

AchのATTを選択します。

測定結果をExcelシートへ入力する時の単位を下記から選択します。
M,K,実値,m,u,n,p
「K」を選択すると、測定周波数が12000の時「12」がExcelシートに入力されます。

測定値の分解能を選択します。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、64000回と解釈されます。入力できる最大回数は、64000回です。

データを取込む時間間隔を秒の単位で入力します。ここで入力した時間と実際の時間間隔では若干の差異が発生します。何も入力が無い場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取り込みます。入力できる最大時間は、3600秒です。

測定器本体のデップSWで設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。

トリガ条件を選択します。「FreeRun」測定器をFreeRunの状態測定します。「パソコン」指定された時間間隔ごとに、パソコンがトリガします。「外部」測定器リアーの外部トリガによりトリガとします。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。

データの取込を停止します。

「PAUSE」中、有効なり、クリックする毎にデータを取り込みます。下記のスポット専用モードでは、このボタンをクリックすることによりデータを取り込みます。

測定中、間欠時間が2秒以上の時、サンプリングまでの残り時間をカウントダウンします。

測定中、取込の残り回数を表示します。

Excelシート上のカーソルを左右に移動します。

Excelシート上のカーソルを上下に移動します。

パルス幅を測定します。

最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。

データに日付時刻を付加します。

データの入力と共にシートをスクロールします。

アドインを終了します。

測定中は、データ表示を邪魔しないように、ウィンドウは下図のように縮小表示となります。

スポット専用測定モードの使用方法

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット専用測定モード」になります。マルチメータの設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット専用測定モード」では、「経過時間」の欄には1,2,3...と「連続番号」が入力されます。

例えば、被測定物を取り換えながら、個々の被測定物の測定を行う場合に便利です。

「スポット専用測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。